医療保健学部の教育課程モデル

医療保健学部入学

理学療法学科	作業療法学科	言語聴覚療法学科	臨床工学科
卒業単位	卒業単位	卒業単位	卒業単位
136単位以上	133単位以上	125単位以上	134単位以上
全学共通科目	全学共通科目	全学共通科目	全学共通科目
22単位以上	17単位以上	20単位以上	23単位以上
専門基礎分野	専門基礎分野	専門基礎分野	専門基礎分野
42単位以上	43単位以上	40単位以上	44単位以上
専門分野	専門分野	専門分野	専門分野
72単位	73単位以上	65単位以上	53単位以上
			専門特論
			10単位
			研究分野
			4単位
科学的知識に裏打ちされた高度な専門技術と問題解決能力、豊かな人間性を備えた理学療法士を育成	作業活動を通して対象者の“望む人生”と“人生の楽しさ”を支援できる臨床力を備えた作業療法士を養成	コミュニケーション障がいを治療する言語聴覚士を養成	生命維持管理装置の操作や保守・点検を行う臨床工学技士を養成
理学療法士は、運動療法や運動学習に加え、マッサージや電気刺激など物理的手段も用いて、障害者の心身機能や動作能力の回復促進を支援する資格です。要介護高齢者や障害児・者の理学療法をはじめ、健常者の疫病予防にも対応できる理学療法士をめざします。複雑な障害像に対し、科学的な洞察力や分析力、情報統合能力を養うと同時に、技術、創造性、応用力を育み、問題解決能力を育成します。患者の信頼を得られる豊かな人間性と、医師はじめ様々な関連職種と連携・協力できる協調性の育成に力を注ぎます。	作業療法学科では、身体や精神、認知に障碍を持つ対象者の日々の“いとなみ”を見つめ、対象者の自己実現を可能にするための確かな治療介入を通して、対象者が“望む人生”と“人生の楽しさ”を支援する実践的な“臨床力”を備えた作業療法士の育成を目標としています。“臨床力”とは、現場で必要となる総合的実践力であり、大学での臨床基盤型教育、医療保健福祉施設での豊富な臨床実習、地域連携貢献活動などを通して現場に即した“臨床力”の習得、体得をめざします。	コミュニケーションの主要な手段であると同時に、思考や記憶とも深く関わる言語に障がいを持つことは、社会生活を営む上で切実な問題になります。脳卒中などの後遺症や重度・重複障がいに伴う言語障がい、さらに摂食嚥下障がいなどに対してもライフステージに応じた適切な支援を行える言語聴覚士へのニーズが高まるなか、本学科では高度な知識と豊かな人間性を備えた言語聴覚士の養成をめざします。	様々な医療機器が多用される医療の現場で、医師の指示のもと、人工透析装置、人工心肺装置、人工呼吸器などの生命維持管理装置や、物理エネルギーを利用する高度診療治療機器の操作・保守・点検・管理を行うエキスパートを養成します。高度な知識と専門技術はもちろん、生命のメカニズムを工学的・物理的な視点で理解するセンスと、医療技術者としての高いモラルや責任感を備えた人材の養成をめざします。
目標とする資格	目標とする資格	目標とする資格	目標とする資格
理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床工学技士